

「 駅をメディア環境普及拠点に。「東急メディアステーション」開設 」

平成12年2月15日（火）、「テコプラザあざみ野駅」内に1号店をオープン

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、メディア環境の普及拠点とするため、「東急メディアステーション」の1号店を田園都市線あざみ野駅構内にある東急旅行センター「テコプラザあざみ野駅」内に平成12年2月15日に開業いたします。

「東急メディアステーション」は、当社の沿線エリアを日本でも有数のメディア環境にすることを旨とした施策のひとつで、駅を情報関連商品の普及の拠点にしていこうというものです。

当面の業務は、①携帯電話およびモバイル機器の販売、②当社プロバイダ事業246-netおよび東急ケーブルテレビジョンへの加入取次、③パソコン販売（246-netとのセットでの販売等）などを行います。

以上のようなことを通して、

- ①2001年春から本格化する次世代携帯電話に対応した販売拠点の確立。
- ②当社プロバイダ事業246-netと東急ケーブルテレビジョンのインターネット接続サービスの普及による沿線インターネット環境の充実。
- ③パソコンとモバイル機器の普及によるメディア環境の整備。

などを図り、当社鉄道沿線エリアをメディア環境の優れたエリアにし、将来のエレクトリックコマースなど、当社および東急グループ各社がメディア事業の分野で新しい事業機会を創出するにあたっての基礎づくりを行いたいと考えています。

なお、「東急メディアステーション」が出店する「テコプラザ」は、駅を単なる乗降拠点とするだけでなく、お客さまや地域に対して新しいサービスを提供していく拠点となることを目的に、主要22駅に展開しているものです。サービス内容としては、航空券や国内・海外旅行商品の販売などの旅行関連サービスを中心に様々なサービスを提供しています。一部の店舗には行政サービスコーナーや郵便局を併設しています。

今後も「東急メディアステーション」を、順次、テコプラザ内等に展開を図っていく予定です。平成12年3月末までに「テコプラザ二子玉川園駅」内に2号店を出店する計画です。

「東急メディアステーション」の概要は次のとおりです。

「東急メディアステーション」の概要

- 名 称 東急メディアステーション
- 目 的 当社沿線エリアを日本有数のメディア環境が整備されたエリアとするための基盤整備を図る。また、駅における新しいサービスのあり方を探る。
- 業務内容 ①携帯電話およびモバイル機器販売
②当社プロバイダ事業246-netおよび東急ケーブルテレビジョンの加入取次
③パソコン販売（246-netとのセットによる販売）
④その他、情報関連商品の取り扱い
など
- 要 員 1店舗当たり：3～4人程度
- 出店計画 平成13年3月末までに主要22駅にある「テコプラザ」内に展開予定
以 上

(参 考)

「テコプラザ」の概要

- コンセプト 駅を単なる乗降の場所として捉えるのではなく、駅を利用されるお客さまや地域の人びとにさまざまなサービスを提供するグループの拠点とする。
- 内 容 航空券や国内・海外旅行商品の販売など旅行関連サービスを中心に、さまざまなサービスを提供しています。一部の店舗には横浜市の行政サービスコーナー（あざみ野、長津田、日吉）や郵便局（あざみ野、日吉）を併設しています。
- 店 舗 当社鉄道線の主要22駅に展開
・渋谷、祐天寺、自由が丘、武蔵小杉、日吉、綱島、菊名、横浜、目黒、大井町、大岡山、二子玉川園、五反田、雪が谷大塚、池上、三軒茶屋、溝の口、鷺沼、あざみ野、青葉台、長津田、中央林間